



すべての人が生涯学び続ける地域社会をつくる

主担当部局：地域振興部



両親で参加する「子育て支援プログラム・乳児期編」のモデル実施
(桜井市つどいの広場)



ヘアドッジバスの練習 (吉野小学校)

ふれあいフェスタ家庭教育啓発チーム「きらら」
により配膳マナーを体験 (きららハウス)

目指す姿

子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し、地域の教育力の充実を図ります。また、すべての県民がいきいきと暮らすため、学び続け支えあえる地域社会を目指します。



●平成28年度までに「規範意識の高い子どもの割合」を

●「児童生徒の暴力行為の発生件数(児童生徒1,000人当たり)」を

全国平均

に上げます。

全国平均以下

に維持します。

●平成28年度までに「子どもの体力・運動能力」を

●平成26年度までに子育てに心理的・精神的な不安・負担を強く感じる母親の割合を

全国平均以上

にします。

10.0%以下

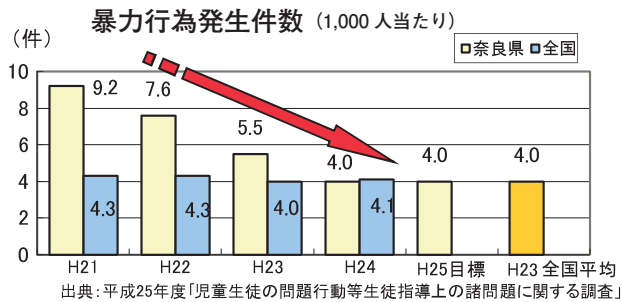
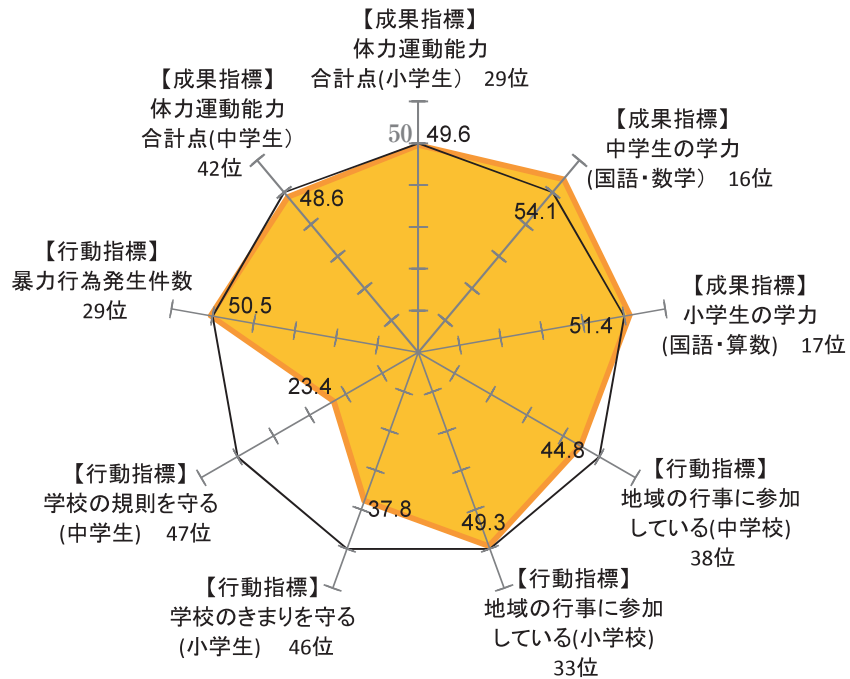
にします。

(平成20年度：19.8%)

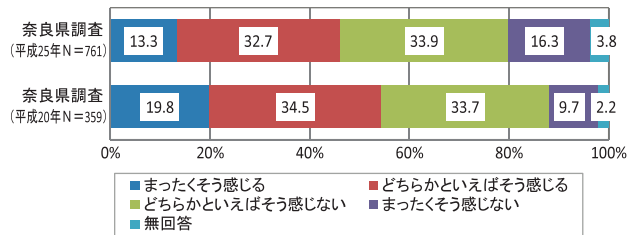
現 状

分 析

■ 主な指標



子育てに心理的・精神的な不安・負担を感じている母親



出典:平成25年度「奈良県子育て実態調査」、平成20年度「奈良県少子化実態調査」
注:対象は6歳未満の子どもがいる妻

- 平成25年度は31市町村267箇所学校コミュニティ(=奈良モデル)を実施しており、地域が学校を支援する仕組み作りは順調です。
- 暴力行為の発生件数(児童生徒1,000人当たり)は平成24年度で全国平均を下回り、目標値に達しました。(H24全国4.1人、県4.0人)また、いじめの解消率は小学校98.3%、中学校98.1%、高等学校85.5%です。
- 子育てに心理的・精神的な強い不安・負担を感じている母親の割合は約1割(13.3%)で、どちらかといえば不安・負担を感じているを加えると5割弱(46.0%)になります。
- 若年無業者(家事、学生、求職者除く)の割合は2.9%であり、全国7番目に高い状況です。

戦略1

家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した社会人に育てていくための取り組みを進めます。

主担当課：教育委員会 企画管理室

目標

▶「地域と共にある学校づくり」において、**学校コミュニティ(=奈良モデル)、県立モデルの実施率を向上**させ、取組の定着を図ります。

(平成26年度実施率：県内公立小・中学校94.2%、県立学校100%)

取り組み

家庭におけるコミュニケーションの拡充や子どもの生活習慣づくり等、家庭教育の充実

地域の教育力の充実

奈良らしい教育理念の検討

学校における学習意欲、体力、規範意識等の向上、暴力行為の減少、いじめの解消



小学生陸上記録会 (橿原競技場)



まなびフェスタ カバンづくり



まなびフェスタ 英語体験



一輪車演技 (新庄北小学校)

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
家庭におけるコミュニケーションの拡充や子どもの生活習慣づくり等、家庭教育の充実				
◎「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動		約束運動の実施	約束運動の検証・充実	
地域の教育力の充実				
◎奈良県地域教育力サミット		実施		
◎「地域と共にある学校づくり」の推進		学校コミュニティ(=奈良モデル)の充実・発展		
		県立モデルの定着・発展		
◎多様な教育機会の確保(私学の振興)		私学助成等を実施		
◎子どもと大人でつくる地域のつながり支援		地域の交流活動を支援		
◎うだ・アニマルパークによる「いのちの教育」の展開		プログラムの実施・充実、取組成果の情報発信		
奈良らしい教育理念の検討		奈良県地域教育力サミットで検討		
学校における学習意欲、体力、規範意識等の向上、暴力行為の減少、いじめの解消				
◎学力検証プロジェクト「まなび-奈良」		学力調査、分析及び教材作成・提供		
◎運動場芝生化の促進		芝生化実践校への支援(連絡協議会の開催)		
		運動場芝生化の啓発		
◎児童生徒の体力向上の促進		中学生の体力向上への支援		
		幼少期からの体力向上への支援		
		体力向上推進プランニングシートの定着及び実践(小・中学校)		
		夏休み大和っ子スポーツウィーク開催(小学校)		
◎地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成	中高生元気発信	地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成		
◎体罰によらない生徒指導推進プロジェクト		説明会、職員研修、指導主事派遣等を実施		
◎いじめ防止対策の推進	いじめ防止基本方針の策定			
	準備	いじめ問題対策連絡協議会の設置・運用		
◎緊急いじめ対応等学校支援		専門家からなる緊急対応チームの派遣による学校支援		
◎青少年が使う携帯電話のフィルタリングサービス利用促進	条例改正	啓発活動の展開		
◎学生を対象とした「ディア・ティーチャー・プログラム」の実施		教員としての資質向上、指導力の養成		
◎児童・生徒の人権意識の高揚		人権学習資料集の作成・活用		



業間駆け足(耳成南小学校)



まなびフェスタ 高校生と相撲

戦略2

ライフステージに応じた学びを支援します。

主担当課：くらし創造部 青少年・生涯学習課

目標

- ▶ **父親を対象とする子育て教室を平成22年度からの5年間に累計30回開催**します。(平成24年度末累計：28回)
- ▶ ニート・ひきこもり支援地域ネットワークを構築するために、**子ども・若者支援地域協議会を平成27年度までに5地域に設置**します。(平成25年度：2地域)
- ▶ 子育て中の親子の交流や子育ての学びの場である**地域子育て支援拠点**を平成26年度までに**71箇所を増や**します。(平成24年度：61箇所)
- ▶ **奈良県立大学改革を進めます**。(平成26年4月：新カリキュラム導入 平成27年4月：公立大学法人化 平成27年3月：(仮称)地域交流棟竣工)

取り組み

母親力・父親力の向上

地域の子育て支援の充実

ニート等の自立支援の充実

野外活動センターの機能充実

生涯学習の推進

県立大学改革の推進



両親で参加する「子育て支援プログラム・乳児期編」のモデル実施
(平群町子育て支援センター)



まなびフェスタ 授業体験



リニューアルされた自炊場での食事
(野外活動センター)



ふれあいフェスタ 高校生によるブース「大和茶カフェ」

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
母親力・父親力の向上				
◎「お祝いメッセージ」等による子育てを応援する取り組み	メッセージカード等の贈呈	検証		
◎大学との連携による公開講座「なら子育て大学」等の取り組み	「なら子育て大学」「出張・なら子育て大学」の実施			
地域の子育て支援の充実				
◎地域子育て支援拠点の充実に向けた取り組み	ネットワーク会議の運営・従事者資質向上研修の実施等			
ニート等の自立支援の充実				
◎ニート・ひきこもり支援地域ネットワークの構築 子ども・若者支援地域協議会設置促進	市町村への設置促進			
◎ニート・ひきこもり訪問支援	実施			
◎民間機関と協働した若者自立サポート委託	実施			
野外活動センターの機能充実				
◎幅広い年代の人々が楽しみ、満足感を得られる環境の充実	食事環境の充実		施設耐震補強等	
◎地域と連携したイベントの開催	自然体験・食文化体験イベント開催			
◎充実した野外活動の推進	体験メニュー・主催事業の充実			
生涯学習の推進				
◎県美術展覧会等の開催	実施			
◎生涯学習情報の提供	実施			
◎学び直し機会の提供 (奈良県立大学シニアカレッジの開講)	実施			
県立大学改革の推進				
◎少人数対話型教育（学習コモンズ制）の導入	準備・届出		実施	
◎公立大学法人化に向けた取り組み	法人化準備		法人化実施	
◎県立大学施設整備の推進	整備構想策定		実施	
◎（仮称）地域交流棟の整備	設計		整備	
◎県立大学の地（知）の拠点化（COC事業）	実施			
◎東アジアサマースクールの開催	実施			



船橋商店街で調査活動を行う奈良県立大学生



県美術展覧会の講評会

これまでの成果

「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動は、平成25年度、**337の幼稚園・保育所で実施され、21,024名の子どもが取組**に参加しました。この運動は「大切なことだ」と答えた保護者の割合は平成24年度の92.1%から平成25年度の93.3%に、「効果があった」と答えた指導者の割合は、平成24年度の92.3%から平成25年度の97.1%に、それぞれ増加しました。

「地域の教育力」再生委員会を開催し、平成21年12月にとりまとめた「地域の教育力」を高める方策にのっとり、「なら通学合宿」を平成22年度から24年度まで継続実施し、**通学合宿のモデルを確立**しました。

スクールカウンセラーを平成25年度は**62校に配置**し、各学校のニーズに対応しました。相談による解決、改善率については、平成24年度は73.5%でした。

地域の教育力の向上を図るために、平成23年度から知事を議長に行政、経済界、公私の教育関係者、子どもをもつ保護者などで構成する「**奈良県地域教育力サミット**」を**継続して開催**しました。

平成25年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、**小学生の体力はほぼ全国平均**に達しています。

生涯学習情報「まなび奈良」として平成25年度に**289件の情報をインターネット等で発信**しました。

子育てセミナーのプログラムとして、平成23年度の「妊娠期両親向け」、平成24年度の「乳児期両親向け」及び「祖父母向け」に引き続き、平成25年度は「**幼児期親向け**」を作成しました。

平成24年度に県立大学が公開講座を3回開催（68名参加）、図書情報館が館長公開講座をはじめ、各種講座を延べ27回開催（3,085名参加）し、**広く県民に学習の機会を提供**しました。



チャレンジ運動フェスタ 8の字大なわとび



まなびフェスタ ワクワクダンシング



ふれあいフェスタ 「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動 表彰式

主な指標の動き

よくなっている指標

◆体力合計点

小学生 105.70点(全国41位) [H20] → 107.86点(全国29位) [H25]
 中学生 81.94点(全国47位) [H20] → 87.19点(全国42位) [H25]
 ・この5年間で小学生の体力総合点は2.16点、中学校は5.25点向上しました。

◆いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合

小学生 94.0%(全国42位) [H20] → 95.9%(全国35位) [H25]
 中学生 87.3%(全国46位) [H20] → 92.3%(全国44位) [H25]
 ・小・中学生ともいじめはいけないことだと思う率は向上しました。

◆強い育児不安を感じている母親の割合

19.8% [H20] → 13.3% [H25]
 ・子育てに心理的・精神的な強い不安・負担を感じている母親の割合は減少しました。

変化が見られない指標、低下している指標

◆国語、算数・数学の勉強が好きな児童・生徒の割合

小学生(国語) 56.4%(全国20位) [H20] → 58.2%(全国22位) [H25]
 (算数) 62.1%(全国42位) [H20] → 63.4%(全国43位) [H25]
 中学生(国語) 50.9%(全国39位) [H20] → 52.8%(全国43位) [H25]
 (数学) 50.8%(全国35位) [H20] → 52.0%(全国45位) [H25]
 ・小・中学生とも好きだと答えた率は向上していますが全国順位はあまり変化していません。

◆国語、算数・数学の成績(それぞれ、主に知識(A)と主に活用(B)の平均正答率の合計)

小学生(国語) 117.7(全国16位) [H20] → 112.7(全国19位) [H25]
 (算数) 125.4(全国13位) [H20] → 137.1(全国15位) [H25]
 中学生(国語) 136.9(全国12位) [H20] → 144.6(全国21位) [H25]
 (数学) 117.8(全国10位) [H20] → 108.4(全国12位) [H25]
 ・正答率はあまり変化していません。

◆若年無業者(家事・学生・求職者除く)の割合

全国2.1% 奈良県2.4%(全国13位) [H19] → 全国2.3% 奈良県2.9%(全国7位) [H24]
 ・全国的に若年無業者の割合は上昇しており、本県においても率は上昇しています。